

会 報 <第398号>

次代を築くヒューマン・ネットワーク
一般社団法人兵庫県建築会



発行日 平成30年12月 1日

<目 次>

- I 第469回月例会(平成30年10月)報告 ……別冊
テーマ:日本人の感性と箱庭に現れる空間的形式～アイデンティティの表明としての建築～
講 師 国立明石工業高等専門学校 名誉教授 坂戸 省三氏
- II 兵庫県政150周年協賛事業(第470回月例会併催) 報告
講演会『兵庫津の歴史を語る』
挨拶、祝辞、講演要旨 …… 2～4頁
講演関係資料等(講演団体の規約、関係画像、講演会感想) …… 11頁
- III 寄 稿 神戸秘話第17回『神戸とオリーブと小妖精と父
久坂葉子と父 川崎芳熊』 …… 5頁
(一社)兵庫県建築会 会 長 瀬戸本 淳
- IV 寄 稿 兵庫県政150周年協賛事業『ブラジル文化講演会』報告 …… 6～7頁
神鋼不動産(株) 常任顧問 川端 宏幸氏
- V 寄 稿 ぶらりまち歩き珍百景『ご存知ですか この数字の意味するものは?
意外なところに珍百景』 …… 7頁
(株)岡工務店 専務取締役 岡 澄彦氏
- VI 花だより 菊 『神戸菊花展覧会(第67回)』(相楽園:神戸市中央区) …… 7～8頁
- VII お知らせ 行事案内、事務局だより …… 9,10頁
広報コーナー(三田建設技能研修センター、住宅再建共済制度) ……12、13頁

今月の花だより: 菊
神戸菊花展覧会
(相楽園:神戸市中央区)



II 兵庫県政150周年協賛事業（第470回月例会併催）

講演会『兵庫津の歴史を語る』

開催日：平成30年11月15日（木）

会場：兵庫津歴史館 岡方倶楽部（神戸市兵庫区本町）

◎ 講演会の開催趣旨

（趣旨）1868年に兵庫県が兵庫津に開設され、本年7月12日（新暦）には150周年を迎えました。

この兵庫津は、古来より大輪田泊と称して、水運の拠点として繁栄し、平清盛が日宋貿易の拠点として、また、江戸の末期には開港場として外国貿易の拠点として整備が進められてきました。日本海から瀬戸内にまたがる大県兵庫の成立経緯として、この兵庫津・神戸港の存在が重要な位置を占めています。

兵庫県150周年を迎えるに当たり、意外と知られていない兵庫県にとっての兵庫津の歴史的な意義を知る機会とするため講演会を開催しました。

その概要を今号と400号（平成31年2月）の2回に分けて報告します。

◎ 講演の内容

1 活動報告「兵庫津諸事業の活動報告」

よみがえる兵庫津連絡協議会会長
高田 誠司氏

2 講演

(1)「兵庫津歴史探訪」

講師 よみがえる兵庫津連絡協議会
カリスマガイド 高松 良和氏

(2)「高田屋嘉兵衛と兵庫津」

講師 高田屋嘉兵衛翁顕彰会
相談役 高田 耕作氏

◎開催概要

1 共催、後援等

共催：兵庫県建築設計監理協会
後援：よみがえる兵庫津連絡協議会
（公財）兵庫県芸術文化協会
（一社）兵庫県建設業協会
（公社）兵庫県建築士会
（一社）兵庫県建築士事務所協会
（公社）日本建築家協会近畿支部兵庫地域会

2 来場者 約120人

講演会の行われた兵庫津歴史館岡方倶楽部



◎主催者開催挨拶（要旨）

（一社）兵庫県建築会 会長 瀬戸本 淳



本日は、兵庫県政150周年協賛事業講演会『兵庫津の歴史を語る』にこれ程の多くの方々にお越しいただきありがとうございます。

また、水埜兵庫県政策創生部長様を初め、

兵庫県・神戸市の幹部の皆様、関係団体の皆様には、ご臨席を賜り厚く御礼申し上げます。

兵庫県建築会は、戦後、建築資材の円滑な流通等を目的として、兵庫県の指導のもと、昭和22年に設立されました。以来、官民協力して環境問題やまちづくりなど研究、勉強会を中心に活動を続けております。

ここ「兵庫津」や「岡方倶楽部」は、その歴史的価値が認められ、それぞれに今年、日本遺産、登録有形文化財に認定されました。今日は皆様と大いに勉強してまいりたいと思います。

講演会を開催するにあたり、講師、スタッフのご協力をいただいた「よみがえる兵庫津連絡協議会」様、「高田屋嘉兵衛翁顕彰会」様、会場を貸与いただいた神戸市様、そして、運営費の助成をいただいた兵庫県様、多くの方々にご支援、ご協力をいただき開催に至りました。厚く御礼申し上げます。

兵庫県にとってのふるさととも言える兵庫津の歴史についてのご講演を楽しんでいただきますようお願いしまして、開会の挨拶とさせていただきます。



◎祝辞（要旨）

兵庫県政策創生部長 水埜 浩氏



本日は、「兵庫津の歴史を語る講演会」、このようにたくさんの方々ご出席のもと、盛大に開催されますことを心よりお喜びを申し上げます。

そして、兵庫県建築会の主催で、兵庫県庁

発祥の地である兵庫津をテーマとして、記念事業を行っていただき感謝を申し上げます。

兵庫津は、兵庫県庁のふるさとながら、そのことを余り知られていません。150年前の1868年に、第一の都市・港湾都市であった兵庫津という土地に置かれた役所ということから「兵庫県庁」という名になり今日に至っています。

この港は、行基が天平時代に造り、1000年以上の歴史を誇る国際港湾都市で、江戸時代には北前船が行き交う大きな物流の集積地となり繁栄しました。1826年、シーボルトが訪れ、世界的にも大きな港湾都市だったことを記録しています。

しかし、太平洋戦争の空襲でほとんど焼き尽くされ、昭和2年建設のこの岡方倶楽部は、戦災を生き残った貴重な建物となります。そのほかにも、戦後復興の寺院、史跡が数多く残り、この5月に、他の北前船ゆかりの港とともに日本遺産の登録を受けたところです。

私どもも、初代県庁舎の復元プロジェクトを進めており、数年後には復元した庁舎と兵庫津の歴史資料館ができますので、そのご活用もよろしくお願いいたします。

今日の記念講演により、皆様方の兵庫津への関心が高まり、このまちの将来を展望していただける機会となりますこと、兵庫県建築会の益々のご発展、ご参加の皆様方のご健勝、ご活躍をご祈念し、挨拶とさせていただきます。本日は、まことにおめでとうございます。



兵庫城跡・県庁跡の碑（兵庫区切戸町）

◎活動報告（要旨）

よみがえる兵庫津連絡協議会会長 高田 誠司氏



皆さん、こんにちは。司会からご紹介がありましたこの建物、いよいよ有形文化財に登録されました。昭和2年、大体90年ぐらい前、兵庫商人が社交場を目的に建設しました。

この兵庫津は、1300年に亘り延々と栄えてきましたが、それを支えたのはやはり人でした。その財力は、ここ150年の中で眺めると、やはり「北前船」からくるものと思います。神戸の経済界の功労者は、北風荘右衛門さん、工楽松右衛門さん、高田屋嘉兵衛さん、この3人を抜きに語ることはできませんが、その財力、やはり北前船による交易・交流により蓄えきたといえます。

私たちの「よみがえる兵庫津連絡協議会」の目的は、もう一度このまちを元気なまちによみがえらせていくことです。そのため、8年前にわずか8人の商人、事業者が立ち上がり、このまちを元気にして次の世代に引き継いでいくことを目標としてきました。今では約30名の会員が集まり、この岡方倶楽部の運営やツアー、神社仏閣を活用した催し等を企画し、発信しています。

「よみがえる兵庫津連絡協議会」は事業者の集まりですが、まちの町衆・自治会・協議会により「日本遺産の会」というのも組織し、日本遺産を目指すことでこのまちをもう一度元気にするきっかけにしていきたいと思っています。

戦災から残り、今、有形登録文化財となったこの岡方倶楽部でこのような講演会を行っていただき、瀬戸本会長、本当にありがとうございます。

そして、今日、私たちのガイドを務める高松さん、それから淡路島の高田耕作さんのお話は、ある意味で歴史に残るお話になるかもわかりません。どうぞご静聴ください。



◎ 講演

(1) 「兵庫津歴史探訪」

講師 よみがえる兵庫津連絡協議会
カリスマガイド 高松 良和氏



(講演要旨) 慶応年間、全国に先駆けての兵庫津における兵庫県の設立秘話。そして、その兵庫津の成立過程として、奈良時代初期の大輪田泊の築造から清盛の日宋貿易を経て、兵庫津へと発展してきたこと。江戸期には北前船などにより北風・工楽家、高田屋嘉兵衛などの豪商を輩出して繁栄した兵庫津の歴史について、史実に基づき分かり易く講演いただきました。

(2) 「高田屋嘉兵衛と兵庫津」

講師 高田屋嘉兵衛翁顕彰会
相談役 高田 耕作氏



(講演要旨) 淡路島の都志村で育ち、潮の満ち引き、風の読み等航海術の基本を会得し、同郷の兵庫津西出町・堺屋喜兵衛を頼り兵庫津に出て、そこを拠点として北前船を駆り、蝦夷、千島を舞台に活躍する波乱の生涯と意義について講演いただきました。

おわりに、司馬遼太郎による嘉兵衛評として「英知と良心と勇気を尺度として、江戸時代一番偉かったと言えば高田屋嘉兵衛である。」との紹介がありました。

※ この講演の概要については、平成31年2月の会報第400号記念号に掲載します。

◎よみがえる兵庫津連絡協議会と高田屋嘉兵衛翁顕彰会のエール交換

兵庫県政150周年講演会は、兵庫津という日本屈指の貿易港と、この港町で船頭、貿易商として地位を築いた高田屋嘉兵衛翁が取り持つ縁で、この講演会が実現しました。

よみがえる兵庫津連絡協議会と高田屋嘉兵衛翁顕彰会におかれては、日本遺産「北前船寄港地・船主集落」のまちとして一層の紹介事業の展開、健闘を讃え、また今後の相互協力、連携を祈念して、握手、記念品の交換が行われました。



◎ 謝辞 (要旨)

150周年協賛事業講演会
実行委員長 山本 康一郎

本日は、皆様には平日のお昼という、大変出にくい時間帯に講演会にお越しいただきありがとうございました。

今日の講演をお聴きし、兵庫津の歴史の重みと、このみなとが生んだ数々の偉人の偉業を知ることができました。

また、この講演会を契機にして、二つの団体の今後の協力体制が誓われたことは当会にとっても大変光栄に思います。是非、今後の両会の活動に期待したいと思います。

それでは、長時間にわたりご熱心に聴講をいただきありがとうございました。

これを機に、兵庫津や高田屋嘉兵衛さんのファンとなってご支援を賜りますこと、そして、兵庫県建築会の活動にもご理解をいただきますようお願い申し上げます。本日のご参集の御礼とさせていただきます。



Ⅲ 寄稿 神戸秘話第17回
『神戸とオリーブと小妖精と父
久坂葉子と父 川崎芳熊』
会長 瀬戸本 淳

トアロードに面して残る唯一の木造西洋館である「東天閣」は、明治27年にドイツ人のビショップ邸として建てられたが、その東向かいに現在「神戸北野ホテル」が建っている。明治12年、この一角の3千坪の敷地で、明治政府の勸農政策によりオリーブが栽培された。フランスから持ち込まれたオリーブの樹550本が見事な実をつけ、初の国産オリーブ油になった。さぞ美しい景色であったろうと思う。しかし、政府の財政難のために明治24年、この「神戸^{オリーブ}阿利禰園」は、川崎造船所を創立して神戸川崎財閥を興した薩摩出身の川崎正蔵に売却された。正蔵は川崎造船所の初代社長に、同じく薩摩出身の31歳で後に神戸新聞を創刊した松方幸次郎を立てている。

この地に、久坂葉子（本名・川崎澄子）が昭和24年から21歳で自死する昭和27年までを過ごした家があった。短いが優艶だった作家活動は、すべてこの家で営まれた。今もホテルの北隣に現存する骨董店「まるきや」は、彼女が19才のときに芥川賞候補作『ドミノのお告げ』やその原型となった『落ちてゆく世界』に登場する。戦争により没落していく男爵家が生活に困り、生活具や美術品を売りにゆく場面が、彼女の作品に流れる魂の翳りを暗示している。

久坂葉子は昭和6年、相樂園のすぐ西に接した一角で、川崎正蔵の孫で男爵家の川崎芳熊と加賀百万石、前田公爵家の家系に繋がる久子との間に二女として生まれた。現在、この屋敷跡にはありえない縁で私が設計させていただいた建物がある。

昭和6年といえば世界大恐慌のさなか、川崎造船所があわや倒産という危機に見舞われた頃で、昭和8年には無給で社長になった平生鈞三郎のもと、川崎芳熊は専務になり懸命に立て直しを計った。戦後、川崎芳熊は公職追放になったものの、久坂葉子が自死する前の年、昭和26年には神戸オリエンタルホテルの社長になっている。

川崎芳熊は神戸一中の卒業だが、金蔵、芳虎、芳治も神戸一中出身で、共に苦しい時代を生きた。そんなさなか、家の内実を暴露したような久坂葉子の作品には頭を悩まし、さらに彼女の死も、とうてい受け入れることができなかつたのではないかと推察する。

久坂葉子は父の影響もあり幼時からピアノ、絵画、俳句、演劇などを好み、一方では有島武郎の

『或る女』の主人公、早月葉子に共感し、太宰治の没落華族を描いた『斜陽』を愛読した。小妖精の才能はその美貌の上に本来、もっと華麗に開花すべきだったと思うが、父の心の痛みにも目を向けて欲しかった。

オリーブの葉の表は光る濃緑色、裏は銀白色でとても美しい。初夏にはいい香りの小さい白い花がまとまって咲き、あつという間に満開、そして一気に散る。まるで久坂葉子のような。ちなみに湊川神社のオリーブの古木は「神戸^{オリーブ}阿利禰園」ゆかりの樹で、樹齢約140年、わが国最古といわれている。

生田神社名誉宮司の加藤隆久さんの『神と人との出会い、わが心の自叙伝』の中の「久坂葉子の死をめぐる」に中西勝画伯のその日の体験が綴られているのを見て、私は大いに驚かされた。若い頃とてもハンサムだった中西画伯が、本命ではなかったにせよ、彼女のボーイフレンドの一人だったとは・・・。



写真提供/久坂葉子研究会

※敬称略

※『ハイカラ神戸幻視行』西秋生、『神戸阿利禰園』インターナショナルオリーブアカデミー神戸、神戸大学経済経営研究所新聞記事文庫などを参考にしました。また、一部「こうべ芸文」の拙文より転載しました。

(注) 本文下から7行目の「隆」は次の文字です。

隆

久坂 葉子（くさか ようこ）
文筆家

1931年、川崎造船（現・川崎重工業）創立者・川崎正蔵の孫である川崎芳熊の娘として神戸で生まれる。

本名は川崎澄子。神戸山手高等女学校（現・神戸山手女子中学・高等学校）卒業。相愛女子専門学校（後の相愛女子短期大学）中退。1949年、六甲在住の作家・島尾敏雄の紹介で、雑誌『VIKING』の同人となり、富士正晴に師事。久坂葉子のペンネームを用いる。『VIKING』に発表した『落ちてゆく世界』は『ドミノのお告げ』と改題され、1950年の第二十三回（上半期）芥川賞候補となる。『幾度目かの最期』を書き上げた後、1952年の大晦日に阪急六甲駅で鉄道自殺を遂げた。

※ 月刊神戸っ子2018年4月号より転載しました。

IV寄稿 兵庫県政150周年協賛事業 『ブラジル文化講演会』報告

神鋼不動産(株) 常任顧問 川端 宏幸

2ヶ月ほど前になりますが、9月16日(日)に兵庫県立美術館において、日本人ブラジル移住110周年と兵庫県政150周年を記念した講演会がありましたので、その概要をご報告します。



講師は、駐日ブラジル連邦共和大使で建築評論家でもあるアンドレ・コヘア・ド・ラーゴ氏で、2018年よりプリツカー建築賞の審査員も務めておられます。

アンドレ・コヘア・ド・ラーゴ氏

残念ながら、当日使用されたパワーポイントの建物や社会風俗の写真は、大使館使用のみとなっているため、本稿には掲載できないことをお断りします。

日本人が移住したサンパウロ市は大変裕福なまちで、まず、先住民であるインディオの文化であったところで、1500年にポルトガル人が入植し、サトウキビ栽培で19世紀までポルトガル社会とインディオが共存していた。

そして、アフリカから奴隷とともにアフリカ文化が導入され、アフリカ人からリズムの影響を受けた。当時の写真から奴隷小屋とその主人の館が共存している姿がうかがえ、ベランダやチャペルの様子からポルトガル様式からトロピカル様式への変化が見られる。

その後、鎖国状態であったが、1800年頃にナポレ



サンパウロ市街

オンがポルトガルに侵攻すると、ポルトガル宮廷はリスボンからリオデジャネイロに遷都し、リオデジャネイロはポルトガル・ブラジル連合王国の首都となり、バロックからネオクラシカルな様式のヨーロッパ的な街に変貌した。

ナポレオンが敗北後、国王は帰還したが、王子のドン・ペドロはブラジルに残り、ポルトガルから独立した。



リオデジャネイロ市街

ドン・ペドロは皇帝として君臨したが、約50年後にサンクレスト宮殿が全焼した。その間、奴隷制度は続き、フランス様式は農場の住宅にも導入されたが、明治維新と同じく、恥ずべき奴隷制はドン・ペドロ帝政の崩壊とともに廃止され、1889年に共和制に移行した。

19世紀の同じころ、アジアでは植民地化が進んだが、ブラジルは免れ、平和な時代が続いた。産業としては、ゴムとコーヒーの生産が約8割を占めた。このように、ブラジルは混交により確立した国で、すべてを取り込み、自分のものとして表現してきた。

1922年にサンパウロは経済の発展とともに政治力を持ち、リオデジャネイロとは、日本の東京と京都との関係に似たかたちとなったが、1930年にブラジル革命が起こり、現代化が進んだ。

建築様式としては、1952年のオスカー・ニーマイヤーの自邸に見られるように、コロニアル様式の復活とモダニズム様式との融合が進んだ。その最大の美の建築は、ブラジリアの建設(1960年に首都移転)である。

このようなブラジルスタイルの建築の保全には、国の税金や芸術活動だけでは十分な保全はできず、企業による保全も含め他今後の対応が必要である。

この講演会に参加して、わが国とは地球の裏側で、これまであまり馴染のなかったブラジルの文化と建築について理解を深めるよい機会となった。



ブラジリア市街

V 寄稿 ぶらりまち歩き珍百景
『ご存知ですか この数字の意味するものは？意外なところに珍百景』
 (株)岡工務店 専務取締役 岡 澄彦氏

牡丹鍋をおいしく味わえる季節である。かつてツーリングがてら篠山に立ち寄り篠山城跡からの景色を見おろした時だった。城跡の中に古式ゆかしき小学校が存在する。これ自体、珍しい事例だが・・・

「篠山市立篠山小学校」

その妻壁には「2594」という切文字の表記。同行者に「あの数字は、皇紀や！多分その年に作られた学校とちゃうか」と神武天皇の即位紀元を示していることを当時の拙い言葉で説明すると、なんとなくわかってもらえたようだった。古さ加減が小生の出た小学校の校舎と似ていたのもあったが後で「あの時は勢いで適当に言ったものの、ほんまやろなあ・・・」と調べたら間違いなかった。皇紀 2594 年、即ち昭和 9 年竣工ということである（但し、篠山小学校自体が現在地に移転したのは明治 43 年）。

現代の建物が定礎に竣工年（月）を刻むように、当時は妻壁にそれを皇紀で示していたのだろうか。あるいは紀元 2600 年の到来に日本中が沸いていたから、その盛り上がりを示していたのかと推測する。当時、この一大イベントに併せて五輪の日本誘致や万博の開催を検討されていたらしい。

「紀元 2600 年記念行事」

昭和 15 年 11 月 10 日、皇居外苑において昭和天皇臨席の下、内閣主催の「紀元二千六百年式典」が盛大に開催された。テーマソング「皇紀 2600 年奉祝曲」や記念映画まで作られた。11 月 14 日まで関連行事が繰り広げられて国民の祝賀ムードは最高潮に達した。14 日までは「祝へ！元気に、朗かに。」だったのが、一夜明けて 15 日からは「祝ひ終わった。さあ、働かう！」と折からの物資不足とあいま

って、引き締められた標語へと差し替えられた。奇しくも同日＝11 月 15 日だが、「(県政 150 周年協賛事業の) 祝ひ終わった。さあ働かう！」と、あたかも小生に言われているかのようなのである(笑)。余談だが、15 日の 150 周年記念講演会も舞台裏に回れば真剣そのもの。祝ひ終わってしっかり働けとはいうが、祝ひ(講演会)の渦中も谷軍曹(笑)の陣頭指揮の下、成功裏に収めることだけを誓い合い、実行委員の一人として久しぶりに体を張って(?)働いた。紀元 2600 年の祭り同様に、盛況ののち大団円を迎えたのが何よりに思う。



VI 花だより : 菊
『神戸菊花展覧会 (第 67 回)』
 (相楽園：神戸市中央区)

県庁近くで会議があり、久しぶりに相楽園で開催中の菊花展を鑑賞してきました。

昭和 27 年に、戦後の復興の一助にと神戸市長の提唱で始まり、第 2 回から会場を相楽園として、66 回を迎えます。1 回合わないのは震災の年は展覧のみ行ったためです。

訪問当日は丁度審査中で、大賞等は未決定でしたが、その後の報道で大菊花壇の出品作品が選ばれたようです。いずれも手塩にかけて育てただけに、素人には採点する基準がよくわかりません。

その菊づくりの代表を、会場の解説を基にご紹介します。



1 大菊花壇（厚物、厚走り）



京都を中心に近畿地方に発達した大菊は、菊を代表するはなでもあり、重弁で弁数が多く、満開に達すると花弁が盛り上がり荘重な花容を現し、厚走り種は周囲の花弁が管状で四方に放した姿は大菊の中で一番雄大で見応えがあります。

2 管物花壇（糸菊）



大菊と同じ京都を中心に発達した菊で、男性的な厚物や厚走り種に比べ繊細な管状の花弁は女性的で、見どころは放射状にピンと伸びた花弁とその先端が玉巻き状になっているつつましさにあります。管弁の太さにより太管、間管、細管、針管の四種類があります。

3 千輪作り（大菊）



1本の大菊を前年の11月に株分けをして育て、4月下旬の定植後から摘心を繰り返し芽数を増やしてゆき、つぼみのふくらむ頃に半球形に組み立てたもので、花数は普通200輪～300輪咲かすことができます。

4 ダルマ作り



大菊の普通栽培より1か月遅れの6月上旬に挿し芽をして育て、さらに矮化剤処理で草丈を短くして仕上げる作り方で、普通栽培の大菊に劣らない大輪の花が咲くのが魅力です。

5 盆栽花壇



小菊の中で花、葉、草丈が小形で花首が短くしかも幹肌が古木の相を現す品種を用いて老木大樹を形取り、あたかも千古の風雪に耐えた大自然を彷彿とさせる樹形、配置が見どころです。

6 懸崖



VII お知らせ

- ◎ 受章（敬称略。以下同じ。）
黄綬褒章（平成30年秋）
瀬戸本 淳
（株）瀬戸本淳建築研究室 代表取締役
（当会会長）
- ◎ 受賞
平成30年建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰（平成30年7月）
吉川 壽一
（株）吉川組 代表取締役（当会幹事）
- 平成30年度兵庫県優秀施行者賞
（平成30年11月）
片桐 琢（株）新井組
新谷 信昭（株）川嶋建設
※藤川 創一 丸正建設（株）
三木 邦雄 前川建設（株）
森 久芳（株）柄谷工務店
- 平成30年度兵庫県若手優秀施行者賞（同上）
橋本 宏明（株）川嶋建設
※山下 敬義 丸正建設（株）
- 平成30年度さわやかな県土づくり賞（同上）
淡路土建（株）（特別共同企業体）
受賞工事名 淡路佐野運動公園屋内
練習場建築工事
（株）森長組
受賞工事名 （二）志筑川水系志筑川
河川改修工事（上流工区）
和以貴建設（株）
受賞工事名 県営柏原南多田住宅建築
工事
（※ 印は当会推薦者を示す。）



表彰式会場（兵庫県公館）

- ◎行事予定
- 新春会員交流会
日時 平成31年1月10日（木）17時30分～
会場 神戸三宮東急REIホテル
- 第471回月例会
日時 平成31年2月7日（木）12時～
会場 西村屋和味旬彩
テーマ 健康マイプラン「健康維持に欠かせない
農業と共生関係—地域創生になぜオーガニ

- ック農業が大切か！！—」
講師 河野 武平氏（株）精膳 代表取締役
- 第472回月例会
日時 平成31年3月7日（木）12時～
会場 神戸三宮東急REIホテル
テーマ 音楽と神戸
講師 宮本 慶子氏
- ◎ 事務局だより

○ 旧益習館庭園が“名勝”指定へ
旧益習館庭園（蜂須賀藩稲田家別邸）について、国の文化審議会から“名勝”への答申がありました。県内での庭園の指定は16年ぶりで5件目と希少なものです。この庭園は、第358号会報でその威容を紹介するとともに、同年11月の秋の公開には見学研修会として訪問し、竹内洲本市長様、担当員から庭園の説明を受けました。その報告を第363号会報に掲載しました。

この度の答申、告示を受け、整備活用計画が策定されるようですが、周辺との一体整備に大いに期待したいと思います。

第358号（平成27年8月）会報

http://www.kenchikukai.or.jp/infomation.php?date=2015080101_2

第363号（平成28年1月）会報

http://www.kenchikukai.or.jp/infomation.php?date=2016010101_2

○ 年末を迎えて

今年中は・四国の水害、大阪北部地震、北海道地震、台風の連続直撃と災害に見舞われた1年でした。また、新たな課題としてブラックアウトや海上空港の脆弱性が浮かび上がりました。

どうやら異常気象が通常化され、温暖化による気象変動が列島、地球規模で覆ってきていると思えます。公共事業による諸対策はさることながら、少なくとも身の回りのことは自己責任で対応しておきましょう。会として制度支援の住宅再建制度の活用を是非。

そして、ポストオリンピックが課題の我が業界ですが、万博の開催決定という朗報が飛び込んできました。かつ、近隣のサテライト会場も視野のようで、事業主体の問題はあるものの、今後の推移に大いに期待したいと思います。

また、喫緊の課題の労働者不足への対応策・外国人労働者の受入れが国会で論議されていますが、近隣諸国に負けない制度を期待します。

本年も通常の行事に加え、県政150周年協賛事業と皆様には大変なご協力をいただき感謝申し上げます。戌年に続く亥年が十二支の例え通りであることを念じつつ、年末のご挨拶とします。

事務局 : 谷 純夫、石井滝実子

電話 : 078-996-2851

FAX : 078-996-2852

Email : archit-k@axel.ocn.ne.jp

II-2 兵庫県政150周年協賛事業（第470回月例会併催）

講演会『兵庫津の歴史を語る』 付属資料

◎ 講演団体の活動内容

この度の講演会開催に当たり講師を依頼した団体の活動方針は次のとおりです。

(1) よみがえる兵庫津連絡協議会会則（抜粋）

（目的）

第3条 かつて兵庫の歴史や経済を支えてきた私たちのまち、兵庫津。本会は、「よみがえる兵庫津！」を合言葉に、人が訪れ、活気と魅力ある元気なまちを目指すことを目的とする。

（事業）

第4条 本会は、その目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 兵庫津周辺における地域の歴史と成りたちについて調査・研究し、特性を生かした活力あふれるまちにする。
- (2) 兵庫津ブランドの創出と浸透を図り、地域愛に溢れたまちにする。
- (3) かつて地域、日本を支えた兵庫商人の復活を目指す。
- (4) その他、本会の目的達成のため必要な事業
(平成22年2月17日制定)

(2) 高田屋嘉兵衛翁顕彰会規約（抜粋）

（目的）

第3条 本会は五色町が生んだ江戸時代後期の偉人、高田屋嘉兵衛翁を顕彰し、もって町づくりに寄与することを目的とする。

（事業）

第4条 本会は、第3条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 高田屋嘉兵衛翁の顕彰に関する事業
- (2) 高田屋嘉兵衛翁の生涯とその偉績に関する資料の収集、保存並びに調査研究
- (3) 高田屋嘉兵衛翁の顕彰を通しての町づくりに関する事業
- (4) ロシアとの民間交流及び北方領土返還に関する事業
- (5) その他本会の目的達成のための事業
(昭和54年4月1日制定)

◎ 高田屋顕彰館（洲本市五色町都志）



◎ 北前船（高田屋顕彰館展示模型）



◎ 受講者から寄せられた感想

当日は、11時にJR兵庫駅をスタートし、JR和田岬線の旋回橋をみながら材木橋を渡り、和田岬駅や和田神社を訪ね、清盛塚、真光寺、チャンネルプロムナード、兵庫大仏と13時すぎまで見学し、兵庫の津を堪能しました。兵庫津一帯は初めてで、行基が1300年前に整備した大輪田泊の風を少し感じ、こんなところに高田屋嘉兵衛の本店があったんだ！と再認識いたしました。1300年の移り変わりが凝縮されたユニークなエリアでした。ありがとうございました。（大阪府大阪狭山市在住・男性）

講演会がなければ歩くことのない町をゆっくり歩く事ができました。岡方倶楽部は一瞬昔の「洲本公会堂」に似てると感じました。今は、建て替えられ昔の面影はほとんどありませんが、岡方倶楽部は文化財に指定された事もあり、後世まで保存を願います。（洲本市在住・女性）

永年兵庫県に住み、県に勤めていましたが、兵庫の始まりの兵庫津のことを何も知らずにいました。今回の講演で兵庫津や高田屋嘉平翁のことを深く知り、友人と語り合えたことはとても印象に残る1日でした。（洲本市在住・女性）

近くに住みながら知らないことが多く、古来から水運の拠点として日本の経済への貢献と、明治維新での大きな役割を担ったことの再確認できました。また、タイミング良く、翌日のNHK総合「新兵庫史を歩く 兵庫県誕生の物語を追って」でも「旧岡方倶楽部」「最初の兵庫県庁の地」などが放映され、改めて地元の歴史に興味がわいてきました。（神戸市在住・会員）

三田建設技能研修センター

三田建設技能研修センターは昭和57年7月、建設現場で働く人々の研修施設として設立され、これまでに67,100人以上の修了生を送り出してきました。建設企業の競争力を確保する上で、建設現場従事者の技術・技能の向上は最重要課題となっています。三田建設技能研修センターをフルに活用し、キャリアアップ、スキルアップを図ってください。

建設労働者緊急育成支援事業

未就業者の建設業への入職を促進するため、平成29年より地方拠点として、建設労働者緊急育成支援事業を実施しています。

技能士コース

鉄筋施工科、型枠施工科、とび科、配管科の4コースで、修了者は技能検定の学科試験が免除になります。各コースとも、通学制と通信制があり、遠距離からの受講もスムーズに資格が取れます。

専門コース

新入社員実務研修（建築、土木技術）測量技能、土木積算の研修の他、各種の技術検定の受験講習など施工者向けのコースが多く、建設関連企業の優秀な教官から現場でつちかった知識と経験を活かした丁寧な指導が受けられます。

技能講習

当センターは労働局長登録教習機関です。建設機械の運転には（免許証）または、（技能講習修了証）が必要となります。夏場冬場の厳しい時期には待機所も備え、快適に訓練が受けられます。

平成30年度 後期受講生募集のご案内

職長・安全衛生責任者研修	土日 11月17日～18日 平成31年3月2日～3日	15,400円	CPDS14ユニット
石綿作業主任者技能講習	土日 11月10日～11日	12,000円	CPDS6ユニット
刈払機取扱作業安全衛生教育	土 平成31年3月2日	9,200円	CPDS3ユニット
酸素欠乏・硫化水素危険作業特別教育	日 平成31年3月3日	8,000円	CPDS3ユニット
足場の組立て等作業主任者技能講習	土日 平成31年2月23日～24日	9,700円	CPDS7ユニット
車両系建設機械運転技能講習（解体用）	平成31年2月4日	19,100円	CPDS4ユニット
車両系建設機械運転技能講習（整地・運搬専用）	11月28日～29日 平成31年2月2日～3日	39,900円	CPDS8ユニット
小型移動式クレーン運転技能講習	12月7日～9日 平成31年1月17日～19日 2月21日～23日 3月15日～17日	26,700円	CPDS11ユニット
五掛付技能講習	12月13日～15日 平成31年1月16日～18日 2月14日～16日 3月8日～10日	17,400円	CPDS11ユニット
高所作業車運転技能講習 普通運転免許所持者	12月7日～8日 平成31年1月30日～31日 2月22日～23日 3月19日～20日	36,000円	CPDS9ユニット
フォークリフト運転技能講習 4日コース 普通運転免許所持者	土日 12月1日～2日、8日～9日 土日 平成31年1月18日～21日 土日 2月16日～17日、23日～24日 土日 3月2日～5日 土日 3月9日～10日、16日～17日	29,600円	-
フォークリフト運転技能講習 2日コース 大特免許所持者	土日 12月1日～2日 土日 平成31年3月2日～3日	21,300円	-

三田建設技能研修センター

職業訓練法人 近畿建設技能研修協会
〒669-1544 兵庫県三田市武庫が丘6丁目1番地
tel (079) 564-4745 fax (079) 564-6058
Eメール info@kensetsu-sanda.ac.jp

三田市は阪神地域にあり、高速道路等交通の要衝の地。無料駐車場、宿泊設備も完備。

ホームページで全容を紹介しています。

またホームページから申込書がダウンロードできます。

三田建設技能研修センター

検索

広報コーナー：兵庫県住宅再建共済制度



自然災害から暮らしを守るために



フェニックス
セクター
はばタン

小さな負担で
大きな安心！

月換算 500円 (2年目～417円) の掛金で、
最大 **600万円** の給付

兵庫県が
実施する

フェニックス共済

- 地震、津波、風水害、豪雪、竜巻などあらゆる自然災害が対象です。
- 他の地震保険や共済に加入していても加入でき、給付が受けられます。
- 住宅の築年数や構造などに関係なく、定額負担で定額給付です。

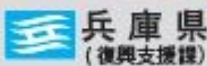
(兵庫県住宅再建共済制度)

住宅再建共済制度 年額5,000円で 最大 600万円 給付!	一部損壊特約 年額500円で 増額特約に 25万円給付!	家財再建共済制度 単独加入 年額1,500円で 住宅とセット 加入の場合 年額1,000円で 最大 50万円 給付!
---	--	--

【被害の程度と給付金額】被害認定は、住宅の所在する市町が発行する「被災証明書」によります。

住宅の被害認定 (被害率)	建築・購入した場合	補修した場合	築築・購入、補修しない場合
全壊 (50%以上)	600万円	200万円	10万円
大規模半壊 (40%以上50%未満)		100万円	
半壊 (20%以上40%未満)		50万円	
特約 一部損壊 (10%以上20%未満)	25万円		10万円

お問い合わせ・お申し込みは、ホームページ または コールセンターまで！



公益財団法人 兵庫県住宅再建共済基金
 コールセンター
 ☎ 078-362-9400 (平日8:00～17:00)
 FAX 078-362-4082 フェニックス共済

あわせて備えて、もっと安心!

フェニックス共済 + 地震保険や他の共済

例 地震により住宅が全壊！
 火災保険契約額 1,800万円
 再建資金 1,800万円の場合

